

クローバー Clover
58-444

強力ボンド 貼り仕事
はりしごと
厚地～普通地用

ヘラを使わず
塗れる
早くきれいに

細口ノズル
ハケ型ヘッド

ミシンがなくても
厚布バッグが
作れる!

貼って
持ち手
つけ
マチ

ファスナー
付け

ワッペン・お名前付け
デニムのすそあげ

のりしろ折りに便利!
折り目つけ
ゲージ付

洗濯
ドライクリーニング
OK!

NET.40g

クローバー株式会社

液色・透明、乾くとほぼ透明

58-444
布用強力ボンド
「貼り仕事」

台紙は製品とともに保管し、使用の際には、よくお読みください。



厚地 ～ 普通地の布に塗って、
アイロンで強力接着する布用接着剤。

- アイロンを使用すると、速く強力に接着できます。
- 自然乾燥でも接着できます。
(自然乾燥の場合は、完全に乾くまで圧着してください)
- ソフトなハケ型シリコンヘッドで、ヘラを使わず早く塗れます。細口ノズルで、細い部分に少量つけたいた時にも、とても便利です。
- 透明でも塗りやすいペースト状で、乾くとほぼ透明になり、使用箇所が目立ちません。
- アイロンでのりしろを折る時に便利な「折り目つけゲージ」付。1・1.5・2cmの「のりしろ」が簡単に折れます。(台紙内側に付属)
- 水洗い・ドライクリーニング(石油系)ができます。

用途

- 帆布などの厚地～シーチングなどの普通地のバッグや小物、布クラフトの制作に。ファスナー付けも簡単です。
- ワッペンやネームテープの取り付けに。お名前付けに。
- 厚地のズボン・スカートのすそあげや補修、カーテン等の寸法直しに。(※ 薄い布地では、しみ出します。使用しないでください。)

接着できる素材

- 綿、レーヨン、ウール、麻 ● 皮革、合成皮革(表革は除く)

※ 加工により接着できないものがあります。
※ シルク・カシミアなど高価な素材への使用は避けてください。

接着しにくい素材	接着できない素材
※ 素材によっては、はがれたり接着できない事があります ● ポリエステル、ポリウレタン ● アクリル、アセテート	● ナイロン、シルク ● 防水加工や撥水加工、コーティング加工や表面加工した(布地・皮革・合成皮革)もの

- 布地や素材の状態により使用後の風合いが硬くなる場合や、接着剤がしみ出す場合があります。接着する時は必ず共布が目立たない部分で試し、好ましくない場合は使用しないでください。
- 接着不足の場合、洗濯すると接着箇所がはがれることがありますのでご注意ください。

● 種類：水性形接着剤
● 成分：ウレタン樹脂 35%、水 65%
● 用途：布・皮革 ● 正味量：40g

ホルムアルデヒド、フタル酸系可塑剤を使用していません

▼製品に不都合な点がございましたら、
お買上げ店名をご記入の上クローバー(株)
「お客様係」まで現品をお送りください。

クローバー株式会社
〒537-0025 大阪市東成区中道3-15-5
「お客様係」TEL.(06)6978-2277

5 cm

折り目つけゲージ

※ミシン目で切り離して使用ください

使い方 折り目をつけたい高さに合わせて布地を折り、ドライアイロンで折り目をつけます。

《1cmの折り目をつける場合》※イラストは、あて布を省略しています

【注意】
●ゲージは紙なので、水気・スチーム・接着剤を避けてお使いください。
●アイロンは中温で、あて布を使用してください。連続使用するとゲージが熱くなるので、ヤケドに十分注意してください。

クロバー 強力ボンド貼り仕事 (パッケージ中面)

使用上の注意

接着する時は必ず共布が目立たない部分で試し、好ましくない場合は使用しないでください。

- ・薄い布地は接着剤がしみ出してシミになるので、使用しないでください。
- ・黒など濃い色の布地で、接着剤を多量に使用してはみ出した場合、乾くと接着剤が目立つ事があるので、ご注意ください。
- ・接着剤は乾くと取れません。接着剤を塗る際は、水で濡らして絞ったタオルなどを準備し、はみ出した場合は、すぐに濡らしたタオルなどできれいに取り除いてください。

使用方法

- ① 接着面のゴミなどをきれいに落としてください。
- ② 接着したい部分の両面に均一にうすく塗布します。目の粗い布に塗布する場合は接着剤が浸透するので下敷きを敷いて作業してください。(厚い布地や凹凸のある布地の場合はアイロン接着をおすすめします)

〈塗布後、アイロン接着する場合〉

- ③ 塗布後、あて布をして中温(約140~160℃)のドライアイロンで接着します。プレス時間は、普通地で約10秒、厚地で約15~20秒程度です。プレス時は、アイロンを動かさないようご注意ください。
- ④ アイロン接着後は、すぐにあて布を静かに取ります。端が浮いた場合はアイロンで浮いた部分を軽く押しえると、きれいに仕上がります。接着箇所の温度が下がるまで動かさないでください。

アイロン接着時の注意

- 高温に弱い繊維類(アクリル、アクリル系、ポリウレタン)は接着しないでください。
- アイロンの温度や接着時間が不足すると十分に接着できない場合があります。その場合は、温度で布地を傷めないように注意して再度プレスしてください。(ペーストが乾ききらず残っている場合は接着不足です)
- メッシュタイプのあて布の使用は避けてください。

- ⑤ 接着後、24時間は洗わないでください。

〈塗布後、自然乾燥する場合〉

- ③ 塗布後、すぐに強く圧着してください。完全に乾くまで圧着し、接着箇所を動かさないでください。

(※ 布地により、乾くと縮む場合があります。正確に仕上げたい時は、アイロン接着をおすすめします。)

- ④ 接着後、完全接着するまで24時間は洗わないでください。

制作のコツ

- あらかじめ、アイロンで折り目をつけ、正確にのりしろを取ります。付属の折り目つけゲージを使うと便利です。

のりしろの目安

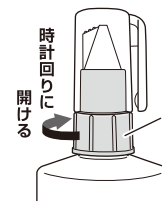
厚地の場合: 2cm以上 / 普通地や小物の場合: 1cm
(※パップの場合はのりしろを多めにとります)

- 接着剤は折り目よりも少し内側に控えて均等に塗ります。折り目のぎりぎりまで塗ると、圧着の際に接着剤がはみ出します。
- 接着剤がはみ出した場合は、すぐに濡らしたタオルなどできれいに取り除いてください。布についた場合は、タオルの水分を接着剤に含ませ、接着剤を取り除いてください。(※乾くと取れなくなり、跡が残ります)

取扱上の注意

- お子様の手が届かないところに保管し、いたづらをしていないようご注意ください。
- 接着以外に使用しないでください。
- 手についた時は、無理にはがさず水で洗ってください。
- 衣服などに付着すると、乾燥後は取れません。付着した場合は、すぐに濡らしたタオルで接着剤に水分を含ませ、取り除いてください。
- 皮フの弱い方は、まれにかぶれることがありますので注意してください。
- 万一目に入った場合は、すぐに清浄水で洗い流し、医師の診断を受けてください。
- 万一飲み込んだ場合は、すぐに水で口をゆすぎ、多量の水または牛乳を飲み、医師の診断を受けてください。
- ベルトや肩ひも、結束ベルトなど、力がかかる部分への使用は避けてください。
- ノズルは着脱可能で、自由に向きを変えられます。お掃除も簡単にできます。
- 使用後は、ノズルの接着剤をふき取り、必ずキャップをしっかりと締めてください。
- 凍結・直射日光を避け、涼しい場所で保管してください。
- 長期間使用しない時は、ボトルに中栓をはめて保管してください。

● 中栓を外してから、ご使用ください



※ 中栓は捨てずにとっておき、長期間ご使用にならない場合には、中栓をしてから保管してください。

ノズルホルダーは、使用時のゆるみ防止のため、逆ネジになっています。時計回りにまわして開けてください。

011602